

2018年9月4日

**リリアム大塚、平成30年度ロボット介護機器開発・標準化事業(開発補助事業)に採択**

株式会社大塚製薬工場(本社:徳島県鳴門市、代表取締役社長:小笠原信一)の子会社である株式会社リリアム大塚(本社:神奈川県相模原市、代表取締役社長:白崎功、以下「リリアム大塚」)の「QOLを改善し介護負担を軽減する排尿支援機器に関する研究開発」が、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)平成30年度「ロボット介護機器開発・標準化事業<sup>※1</sup>(開発補助事業)」の「排泄支援(排泄予測)」分野において採択されましたのでお知らせいたします。

超高齢社会を迎え、介護現場では排泄ケアのニーズが高まっています。リリアム大塚は超音波により排泄タイミングを予測する医療機器「リリアム $\alpha$ -200<sup>※2</sup>」を開発・販売しており、今後、ワイヤレス化や小型化を視野に、介護施設や家庭で、誰もが簡単に使える新たな製品の開発を加速していきます。本研究では、国立研究開発法人理化学研究所が超音波シミュレーションや臨床研究協力を担います。

本研究の研究協力機関である「社会福祉法人こうほうえん」の廣江研理事長(特定非営利活動法人日本介護経営学会理事)は次のように述べています。「より良い介護を目指し、我々はこれまで、介護現場における人手不足や、職員の経験やスキルの格差を解消するツールの開発を推進してきました。今回のリリアム大塚の事業により、利用者(被介護者)や介護される方のニーズを捉え、ADL<sup>※3</sup>向上や自立支援に繋がる機器の開発を期待しています。当法人としても、ニーズ調査や実証検証に関わり、この革新的な製品開発に協力していきたいと考えています。」

大塚グループは、今後も“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”の企業理念のもと、世界の人々の健康に寄与してまいります。

※1 ロボット介護機器開発・標準化事業: AMEDの推進する事業の一つであり、既に開発されてきたロボット介護機器の普及促進のための効果測定・評価、高齢者の自立した生活維持に資するロボット介護機器の開発および安全基準等の開発、標準化を実施し、日本の新しいものづくり産業の創出に貢献することで、健康長寿社会の実現に寄与することを目的としています。

※2 リリアム $\alpha$ -200: リリアム大塚が開発し2015年11月から販売を行っている膀胱用超音波画像診断装置。超音波により無侵襲で膀胱内尿量を可視化する医療機器です。本製品は、膀胱内尿量モニター(残尿測定または24時間定時測定)による包括的な膀胱機能評価が行え、尿道留置カテーテル抜去後やおむつ外しのための排尿ケアに有用です。排尿自立を支援し在宅復帰を促進するツールとして期待されています。

※3 ADL: Activities of daily living、日常生活活動度。食事・更衣・移動・排泄・整容・入浴など、人が生活を送るために行う活動の能力のこと。

## 会社概要

### 株式会社リリアム大塚 (Lilium Otsuka Co., Ltd.)

設 立 : 2015 年 1 月 29 日  
資 本 金 : 7,500 万円  
代 表 者 : 代表取締役社長 白崎 功 (しらすき いさお)  
本 社 所 在 地 : 〒252-0237 神奈川県相模原市中央区千代田 4-12-6  
従 業 員 数 : 18 名 (2017 年 12 月 31 日現在)  
事 業 内 容 : 医療機器及び関連製品の研究開発、製造販売  
U R L : <http://www.lilium.otsuka/>

### 株式会社大塚製薬工場 (Otsuka Pharmaceutical Factory, Inc.)

設 立 : 1969 年 10 月 7 日 (創立 1921 年 9 月 1 日)  
資 本 金 : 8,000 万円  
代 表 者 : 代表取締役社長 小笠原 信一 (おがさわら しんいち)  
本 社 所 在 地 : 〒772-8601 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115  
従 業 員 数 : 2,297 名 (2017 年 12 月 31 日現在)  
事 業 内 容 : 臨床栄養製品を中心とした医薬品、医療機器、機能性食品等の製造、販売および  
輸出入  
U R L : <https://www.otsukakj.jp/>